18 歳（成人した時）の平生っ子のめざす姿

「平生から未来が語れる人」

※自分や自分をとりまく人々の未来、ふるさと平生の未来や山口県、日本、世界の未来

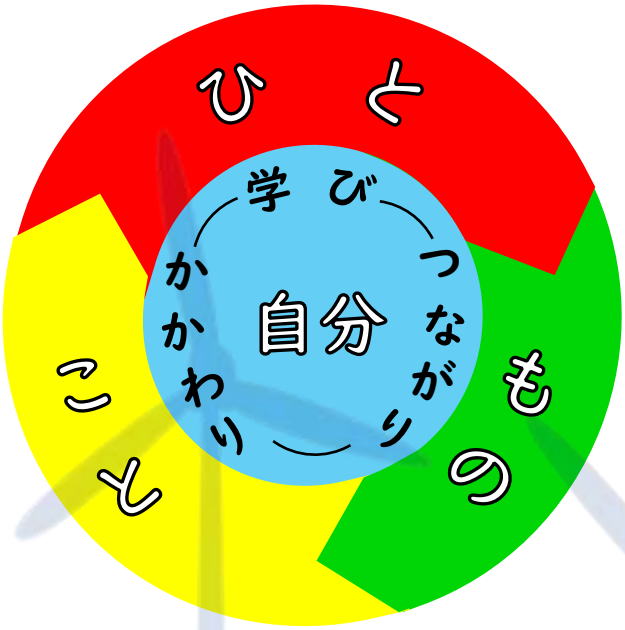
15歳（義務教育修了段階時）の平生っ子のめざす姿

「ひらお」と「自分」を誇れる人

～ふるさと平生の「ひと」「もの」「こと」を愛し、平生に愛される「自分」へ～



放課後こども教室





中高生ボランティア



地域の方との交流



地域協育ネット運営委員会

ふるさと平生の「ひと」「もの」「こと」を愛し、平生に愛される「自分」になるためのめざす姿

○学校と家庭・地域等が連携・協働することで、子どもが自立し、生涯にわたって学び続ける姿をめざします。
○一歩を踏み出す勇気をもち、ふるさと平生のためにできることにチャレンジ（挑戦）する姿をめざします。
○地域の「ひと」「もの」「こと」に出会い、体験する中で、自分の住んでいる地域が語れる姿をめざします。

平生町の教育では、子どもたちが日々の学校生活の中でめざす姿として「がんばり」（自学・自立）と「優しさ」（協働・思いやり）を発揮する子どもたちを掲げています。しかし、18 歳（成人した時）や 15 歳（義務教育段階修了時）のめざす姿は示されていませんでした。

そこで、平生町地域協育ネット運営委員会、小中合同研修会等での二つのめざす姿の熟議を経て 18 歳と 15 歳のめざす姿が上記のように決定しました。この姿を基に、平生町では、学校・家庭・地域が連携・協働することで平生町に住む子どもたちが地域の人から「学び」、地域の人と「つながり」、地域の人に「かかわる」姿の実現をめざします。